

地方独立行政法人府中市病院機構
平成26年度業務実績に関する評価

平成27年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の平成26年度業務実績に関する評価を行った。

評価については、年度計画に定められた事項ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、病院機構の自己評価を参考に評価委員相互で意見交換を行い、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、項目別評価の結果のみならず、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の具体的取り組みをはじめ、年度計画の達成状況及び平成26年度決算の状況等にも注目して、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、病院機構におかれては、地域に必要な医療の提供を図るとともに、健全な病院運営の実現に向けて、更なる改革に取り組まれない。

第1 全体評価

地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の平成26年度の業務実績については、概ね年度計画どおりに推進されている項目が多いと評価できるが、財務内容の改善に向けては未だ多くの課題が残っていると云々ざるを得ない状況にある。

高齢化に対応した医療の提供に関しては、平成25年度から引き続いて地区医師会と連携した在宅医療を推進されるとともに、府中北市民病院への訪問看護ステーション設置や、巡回診療の実施に向けたへき地医療拠点病院指定申請準備など、具体的な取組みが意欲的に進められた。また、医師をはじめ医療従事者の確保が俟たない中で、府中市民・府中北市民両病院間での診療支援や人事交流を進めるなど、中山間地域の医療を支える両病院の診療機能維持に努めてこられたことに対しては、地域住民に代わって敬意を表するものである。

一方で、過去の評価委員会において常に指摘してきた「市からの繰入に過度に頼らない強靱な経営基盤の構築」については、この間の病院機構の努力にもかかわらず目立った成果を上げるには至っていない。平成26年度決算においても1億円余りの赤字となってしまったことについては、過年度の退職給与引当金の修正損や市からの財政支援の厳格化があったにせよ、委員からは将来の病院運営を危惧する声や、抜本的な改革を求める意見も表出された。病院機構におかれては、こうした指摘を真摯に受け止め、各種の経営指標を活用するとともに、様々な角度からのシミュレートを実施した上で、収支改善に向けたPDCAサイクルを確立されるよう、強く望むものである。加えて、病院機構の広報機能を強化し、病院機構の現状や各病院での取組みなどについて地域住民への積極的な情報提供を進めることで、地域との相互協力体制の構築を図ることこそ、地域から愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに必要な取組みであることを申し添える。

第1期中期計画の第3事業年度である平成26年度の業務実績は、同期間中の目標達成を占う試金石であり、今後の病院機構の運営に対して重要な意味を持つものであったが、現時点では収支目標の達成には非常に多くの困難があると言わざるを得ない。今後進められる第2期中期計画の策定等に当たっては、医師の地域偏在、少子高齢化の更なる進展及び地域包括ケアシステムの構築など、病院運営を取り巻く情勢を的確に見据えつつ、これまで以上に現実的な検討を進められたい。

最後に、府中市行政におかれても、中山間地域の医療を支える重要な医療機能を守るべく、引き続き病院機構に対し支援と指導を賜るよう付記するものである。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

平成26年度年度計画の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階で、次のとおりである。

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
平均2.8点 A評価
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
平均2.8点 A評価
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
平均2.0点 C評価
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
平均3.0点 A評価
- (5) 予算、収支計画及び資金計画
※ 財務諸表及び決算報告書を確認
- (6) 短期借入金の限度額
※ 短期借入はないので、評価なし
- (7) 剰余金の使途
※ 剰余金が発生していないため、評価なし

《参考》

S評価…進捗状況は優れて順調	C評価…やや遅れている
A評価…順調に進んでいる	D評価…遅れている
B評価…概ね計画どおり	

2 小項目評価

別冊「平成26年度の業務実績に関する評価結果【小項目評価】」を参照

【大項目評価に係る小項目評価の集計結果】

大 項 目							大項目評価 (平均点)
中 項 目	小項目数	評価5 (5点)	評価4 (4点)	評価3 (3点)	評価2 (2点)	評価1 (1点)	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価 (2.8点)
1 提供する医療の内容	4		1	3			
2 診療機能の確保	2			1	1		
3 地域医療連携の推進	1			1			
4 医師及び医療従事者の確保	2			1	1		
5 地域住民とともに守る病院づくり	3			2	1		
小 計	12項目		4点	24点	6点		34点
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価 (2.8点)
1 組織・機構の整備	1				1		
2 職員教育体制の充実	1			1			
3 事務職員の育成	1			1			
4 働きやすい職場環境の整備	1			1			
小 計	4項目			9点	2点		11点
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置							C評価 (2.0点)
1 経営基盤の強化	1				1		
2 収益の確保及び費用の節減	1				1		
小 計	2項目				4点		4点
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置							A評価 (3.0点)
1 病院の建て替えへの対応	1			1			
2 医療機器などの更新	1			1			
小 計	2項目			6点			6点
第5 予算、収支計画及び資金計画							—
※ 財務諸表の確認							
第6 短期借入金の限度額							—
—	1						
小 計	1項目						—
第7 剰余金の使途							—
—	1						
小 計	1項目						—

地方独立行政法人府中市病院機構
平成26年度の業務実績に関する評価結果
【小項目評価】

平成27年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

内 訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	173	44	217
府中北市民病院	71	37	108
法人合計	244	81	326

※職員数は非常勤医師数を除く

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(別表)

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設・日本呼吸器学会関連施設・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床研修病院・日本消化器病学会関連施設・日本整形外科学会専門医研修施設 <u>訪問看護ステーション</u>
所 在 地	府中市鶴飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	60 床 (一般 60 床)
診 療 科 目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

中期目標の3年目となる今年度は、地方独立行政法人に相応しい自律的な業務運営によって、法人の財務状況の改善を図るための取組みを行いましたが、法人全体としての経営成績は、昨年度と同様の赤字決算となりました。

年度初めに、府中北市民病院の改革に取り組むため、府中市民病院の常勤医師を院長職務代理者として派遣し、7月に、病床の有効活用と職員配置の効率化を図るため、2病棟（一般病床35床、療養病床35床）を一般病床60床の1病棟に再編し、10月には、看護師を1名増員し訪問看護ステーションを開設しました。しかし、限られた人員で病院機能を維持することはできなかったものの、経営改善の効果が現れるまでには至りませんでした。

収支については、法人全体では経常収支比率97.6%（前年度比+0.5%）で、収益面の前年度比較では、府中市民病院が外来100.2%、入院100.0%、府中北市民病院が外来96.4%、入院90.8%でした。費用面では市からの繰入を除くと、法人全体では給与費比率は75.0%（前年度比+1.9%）、医業収益比率は85.7%（前年度比+1.1%）、経費比率は20.7%（前年度比▲0.8%）、材料費比率は15.9%（前年度比▲1.7%）で、給与費を除く費用を削減し前年度比較で約4,200万円の経営改善を図りました。しかし、市の繰入金2,000万円の減額と府中北市民病院特別損失約2,200万円もあり、前年度とほぼ同額の経常損失▲106,722,203円の計上となりました。

職員体制については、府中市民病院は法人職員・JA広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と派遣職員で病院事業を継続してきました。市からの職員派遣は継続されますが、JA広島厚生連からの人的支援期間である3年間の出向が終了する中、法人としての職員体制を確立することができました。法人スタートから3年間で、JA広島厚生連から法人に転籍した職員は98人、法人が新規採用した職員数は68人でした。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を、また、府中市民病院には、府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携を継続しています。

府中市民病院は、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を、府中北市民病院は、救急告示病院としての職員体制を継続しています。

府中北市民病院は、医師の招聘や看護師の確保が困難な中、将来にわたって地域に必要な医療を提供するため、病院改革に着手しました。この改革は、即効性のある経営改善までには至りませんでした。引き続き改革に取り組めます。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めています。

それぞれの病院で、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する場を設け、業務運営の改善を推進します。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市から経営安定化のため4億2,000万円の繰入金がありましたが、前年度に続き赤字決算となりました。中期目標の達成にむけては、厳しい現状に直面しています。府中北市民病院における新改革プランの具体的な実施や、府中市民病院における新病院建築に合わせた病院改革の取組みをさらに進めます。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

今年度、府中市民病院の新病院建築工事が着手され、平成27年末の新病棟の完成に向けて順調に工事が進んでいます。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

中期目標	高齢者の病気の重症化を防ぎ、在宅における生活の質を高める医療を提供し、さらに終末期における在宅医療にも取り組むこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>・地域住民の高齢化に対応した在宅医療に取り組めます。特に、府中北市民病院については、新改革プランを執行し、上下地域が地域医療のモデルになるよう取り組めます。</p> <p>・地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。今年度から広島県北部地域移動診療車協議会に参加し、医療機器を搭載した車両を地域住民の居宅近くまで巡回させ、住民の受療機会を確保するために、無医地区等への巡回診療事業を実施します。</p>	<p>【府中】昨年度、府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、訪問看護ステーションあゆみは、本事業のサブセンターとして、その役割を果たしています。</p> <p>【府中北】新改革プランの具体化として、H26.10.1看護師を増員し、府中北市民病院訪問看護ステーションを仮設しました。</p> <p>【法人】巡回診療の開始に向け、関係機関と調整を行い、新年度（H27）に府中市民病院のへき地医療拠点病院の指定と巡回診療を開始します。</p>	4	4	<p>・訪問看護ステーションを開設できたことは評価できる。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(2) 予防医療

中期目標	市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした総合的な予防医療の提供に努めること。																															
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																											
「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。	<p>・市の保健事業と連携し、人間ドックや健康診査を行います。市民の健診受診率の向上に対応するため、病院健診の受け入れ者数の拡大を図ります。また、健診結果に応じた保健指導にも取り組みます。</p> <p>・病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。</p>	<p>【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施し、精密検査が必要な受検者には、当日受診を勧奨しました。特定保健指導は、実施に至りませんでした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>健診種別</th> <th>前年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">府中市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>309</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>協会健保等</td> <td>500</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>156</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>964</td> <td>1,248</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">府中北市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>85</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>201</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>505</td> <td>546</td> </tr> </tbody> </table> <p>【府中北】上下地域の健診機能を維持するため、検査機器（マンモグラフィ）を更新しました。</p>		健診種別	前年度	26年度	府中市民病院	人間ドック	309	307	協会健保等	500	640	特定健診	156	301	がん検診	964	1,248	府中北市民病院	人間ドック	85	96	特定健診	201	250	がん検診	505	546	4	3	<p>・特定健診、がん検診の受入件数が増加していることは評価できるが、予防医療の推進には特定保健指導が重要である。</p> <p>・特定保健指導が実施できなかった理由を明確にし、次年度以降の取組みに反映されたい。</p>
			健診種別	前年度	26年度																											
府中市民病院	人間ドック	309	307																													
	協会健保等	500	640																													
	特定健診	156	301																													
	がん検診	964	1,248																													
府中北市民病院	人間ドック	85	96																													
	特定健診	201	250																													
	がん検診	505	546																													

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(3) 救急医療への対応

中期目標	地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行うこと。そのため、日常的に地元医師会や消防署と情報交換を行うなどして、救急時の即応体制を培うこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。 ・救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。また、提供する救急医療の内容については、地域住民への情報発信を積極的に行います。 	<p>【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。</p> <p>府中市民病院は、外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を継続しました。</p> <p>緊急手術は、今年度57件（前年度41件）行いました。また、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度27件（昨年度23件）でした。</p> <p>病院が提供する救急医療の内容についての地域住民への情報発信は、今年度は取り組めなかったため、翌年度に市の協力を得て取り組みます。</p>	3	3	・外科の緊急手術対応体制の確保等について、地域に対して積極的に広報する必要がある。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(4) 災害医療への協力

中期目標	災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、防災訓練等にも協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。 ・市が行う防災訓練等に積極的に協力します。 	<p>【法人】今年度は、行政からの要請がありませんでした。</p> <p>【府中】今年度は、市から防災訓練等の要請はありませんでした。</p> <p>今年度も府中市民病院 I C L S コース研修会（患者救命率向上のための実技研修）を開催し、12名の看護師が参加しました。</p> <p>【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しました。</p>	3	3	<p>・災害発生時や感染症流行時に適切に対応するためにも、防災訓練をはじめ法人独自の訓練の実施に取り組む必要がある。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

中期目標	それぞれの診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。	<p>・府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を図ります。</p> <p>近隣病院との連携会議を活発化し、同時に府中地区医師会と協議しながら、医療連携の具体的な方向性を検討します。</p> <p>・地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【法人】 多田理事長が府中地区医師会の理事として、地域の医師との情報共有を図っています。今年度から地域医療病院コンソーシアム府中を構成する社会医療法人社団陽正会と法人の連携会議を、毎月の定例会議としました。</p> <p>【府中】 H26.4月から月2回（第2.4金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援が開始されました。</p> <p>【府中北】 多田院長の呼吸器専門外来（月1回）に加え、H26.5月から府中市民病院の内科（呼吸器）常勤医師が、毎週金曜日に外来診療を開始しました。</p>	3	3	<p>・府中市民病院と府中北市民病院が、役割分担を図りながら連携できていることは評価できる。</p> <p>・近隣の医療機関との連携も図られている。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

中期目標	府中地域に欠けている医療機能として、行政とともにその再開に努力すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
小児救急医療及び分娩の再開については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。	・広域的な連携体制の中で、2病院が果たすべき役割を検討します。	<p>【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。</p> <p>現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。</p> <table border="1"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>前年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>2,371</td> <td>2,478</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>288</td> <td>430</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>前年度</td> <td>26年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>564</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>85</td> <td>89</td> </tr> </table>	府中市民病院	前年度	26年度	外来患者数	2,371	2,478	子宮がん検診	288	430	府中北市民病院	前年度	26年度	外来患者数	564	592	子宮がん検診	85	89	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療の広域連携に向けて、どのような取り組みを推進しているのかを明示されたい。 ・産科医の不足や少子化の進展を考慮すると、府中市内での分娩の再開には今後も大きな困難があると思われる。 ・次期中期目標の策定において、広域的連携の在り方について検討されたい。
府中市民病院	前年度	26年度																					
外来患者数	2,371	2,478																					
子宮がん検診	288	430																					
府中北市民病院	前年度	26年度																					
外来患者数	564	592																					
子宮がん検診	85	89																					

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

<p>中期目標</p>	<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れた活動を行うこと。 加えて、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、高齢者と介護者を一緒に見守る公的サービスを提供しようとする「在宅支援システム」構想の実現にむけて、市とともに取り組むこと。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。</p> <p>在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定したモデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するものです。</p>	<p>・地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築に取り組みます。府中地域保健・医療・福祉連携ネットワークの在宅医療情報共有システムにより、関係機関による情報共有をさらに推進します。</p> <p>・高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室の充実を図ります。</p> <p>地域医療連携室は府中市と連携し、地域包括ケア体制の構築にむけて、医療と介護の連携を図ります。府中北市民病院定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所「ささえ」を開設します。</p>	<p>【府中】府中地区医師会「在宅医療推進拠点整備事業」の5つのサブセンターのうち1つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担っています。</p> <p>【府中】【府中北】地域ケア会議を月1回開催しています。</p> <p>【府中】H27年度に完成する新病院に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の包括支援センター）の総合的相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けます。</p> <p>【府中北】定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「ささえ」の開設を予定していましたが実現できなかったため、翌年度の開設を目指します。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・高齢化が進展しており、「在宅支援システム」の実現に向けて、より積極的に取り組まれない。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

中期目標	府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力すること。													
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価										
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント									
広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	・広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	<p>【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2014」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。しかし、病院群としての臨床研修体制の構築までには至っていません。</p> <p>【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>前年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	実績	前年度	26年度	研修医	2人	1人	学生	2人	1人	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修医や学生の教育活動に取り組まれない。 ・臨床研修は医師確保対策にも有効と考えられる。研修体制の構築に積極的に努力されたい。
実績	前年度	26年度												
研修医	2人	1人												
学生	2人	1人												

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(2) 看護系大学などとの連携

中期目標	看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	・看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	<p>【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。</p> <p>また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。</p> <p>【府中北】地域医療連携室の社会福祉士が、三次看護専門学校の学生に対する社会福祉学の講義（5日）を行いました。</p>	3	3	<p>・引き続き実習生の受け入れや講師派遣等に努められたい。</p> <p>・取組みによって就業した看護師の数等、成果を明らかにされたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

<p>中期目標</p>	<p>患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めること。 また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域住民に信頼される病院づくりを目指して、患者サービスの向上を図るため、患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めます。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>・待ち時間の短縮、利便性など患者サービスの向上に努めます。</p> <p>・快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設づくりに努めます。</p>	<p>【府中】新病院のレストランの基本コンセプトは、学ぶ（生活習慣病予防の食事と啓発）集う（高齢者や一人世帯への支援）拡がる（地域交流の場所）になりました。</p> <p>【府中北】H26.9月から1階ロビーを開放し、地域住民への院内ミニコンサートを4回開催しました。</p> <p>【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を開始しました。総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握しています。</p> <p>【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・引き続き患者の利便性と院内環境の快適性の向上に努められたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(2) 医療安全対策の徹底

中期目標	院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> 院内感染防止策を確実に実施します。 医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。 	<p>【府中】【府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。</p> <p>【府中】【府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。</p>	3	3	・引き続き医療安全対策の徹底に努められたい。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(3) 市民への積極的な情報提供

中期目標	病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。	<p>・病院運営に関して、地域住民に積極的な情報発信を行います。</p> <p>・病院のホームページや広報紙等により、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p> <p>広報誌の目標発刊数</p> <p>【法人】 2回</p>	<p>【法人】 市の健康&福祉まつりに参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しました。</p> <p>【府中】 看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。地元の夏祭りへの出店や、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しました。</p> <p>【府中北】 医師による住民対象の健康教育講座（2回）乳児健診（6回）や、中学生の職場体験2人を受入ました。</p> <p>【法人】 市の広報誌に、病院スタッフルームの紹介記事を、8回（府中4回、府中北4回）掲載しました。</p> <p>広報誌の発刊数</p> <p>【法人】 0回</p>	2	2	<p>・市ホームページとの連携など、より活発な情報発信に努めるべき。</p> <p>・法人独自の広報紙の発行に努められたい。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

<p>中期目標</p>	<p>府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現すること。また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>・病院事業の継続性、確実性を確保し、病院自身の経営企画機能を強化します。</p> <p>・職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材を適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制づくりに着手します。</p> <p>・すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土の醸成を図ります。</p>	<p>【法人】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。</p> <p>【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を、毎週定例で開催しています。</p> <p>【法人】府中市民病院は、法人スタートから3年間の厚生連の出向職員から法人職員への移行期が終了しました。今後、2病院の効果的・効率的な組織体制に取り組みます。</p> <p>【府中】毎月の幹部会議で、経営状況の共有化を図りました。</p> <p>【府中北】毎月の定例院内会議で、経営状況や事業実績の共有化を図りました。</p>	<p>3</p>	<p>2</p>	<p>・中期目標に掲げた収支目標の達成は厳しい。医療従事者不足や更なる人口減少が進む中で、効率的な病院体制を含めた組織運営を図りたい。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 職員教育体制の充実

中期目標	全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。	<p>・全職員への教育、キャリアアップを支援します。</p> <p>・教育効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>府中市民病院</th> <th>府中北市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>23</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>102</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>90</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>29</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>合計（延人数）</td> <td>244</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しています。</p> <p>【府中北】看護部に、教育担当者を指名し、院内では研修の企画、院外では広島県国保診療施設地域医療学会で研究発表しました。</p>	区分	府中市民病院	府中北市民病院	医師	23	8	看護師	102	45	医療技術	90	8	事務	29	35	合計（延人数）	244	96	3	3	・医療従事者のモチベーションが高揚するような研修プログラム構築を検討されたい。
		区分	府中市民病院	府中北市民病院																			
医師	23	8																					
看護師	102	45																					
医療技術	90	8																					
事務	29	35																					
合計（延人数）	244	96																					

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 事務職員の育成

中期目標	医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	・医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	<p>【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っています。今後は、法人として特に計画的な採用・育成が必要になります。</p> <p>※事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>H26.4</th> <th>H27.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市府中 市民病院</td> <td>法人</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市府中北 市民病院</td> <td>法人</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		H26.4	H27.4	市府中 市民病院	法人	6	8	府中市	3	3	市府中北 市民病院	法人	1	2	府中市	3	3	3	3	<p>・医療事務に精通した職員の育成が必須である。</p> <p>・法人の独立性確保のためにも、計画的な人材育成を進めることが必要である。</p>
職員区分		H26.4	H27.4																				
市府中 市民病院	法人	6	8																				
	府中市	3	3																				
市府中北 市民病院	法人	1	2																				
	府中市	3	3																				

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

中期目標		職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。 ・働きやすい職場環境の整備として、府中市民病院に院内託児所を開設します。 	<p>【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。</p> <p>【府中】府中市が、本館2階の空きスペースを改修し、院内の託児施設整備を行い、H26.10月に院内託児所「おひさま」（定員8人）を開所しました。年度末現在、市の委託業者により運営され、職員の子ども4人が利用しています。</p>	3	3	<p>・職員の努力が成果に表れ、それが適正に評価されるような人事評価制度の構築を図られたい。</p>

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

中期目標	不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ること。 また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討すること。										
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価							
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント						
<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>【法人】法人の経営成績は、2 病院の合計で 106,723 千円の赤字決算となり、経常収支比率 97.6%でした。</p> <p>市からの繰入金 420,000 千円（当初：340,000 千円、追加：80,000 千円）は前年度比較で▲20,000 千円となっている中、実質約 4,200 千円の経営改善が図られましたが、黒字決算の目標達成はできませんでした。</p> <p>※経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="1086 1106 1491 1254"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>▲186,038 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲340,685 千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲526,723 千円</td> </tr> </table>	府中市民病院	▲186,038 千円	府中北市民病院	▲340,685 千円	法人全体	▲526,723 千円	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい経営分析を行い、改善点を明確にすべき。 ・給与費比率は昨年度よりも更に上昇しており、抜本的な合理化も検討すべき。 ・中期目標であるプライマリーバランスの黒字化達成に向けて努力されたい。そのためには病院事業全体を見直し、抜本的な対策も必要ではないか。
府中市民病院	▲186,038 千円										
府中北市民病院	▲340,685 千円										
法人全体	▲526,723 千円										

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

2 収益の確保及び費用の節減

中期目標	診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じること。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減を疎かにしないこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>・診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、収益向上に有効な対策を講じます。</p> <p>・柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>【府中】医事課では、査定を減らす取組み、外来未収金を減らす取組みを継続しています。</p> <p>【府中】総務課は、引き続き経費削減に取り組み、前年度比較で材料費対医業収益比率 2.0%減、経費対医業収益比率 1.5%減となる成果を上げました。</p>	4	2	<p>・昨年度同様、府中北市民病院に関する記載がない。</p> <p>・府中北市民病院新改革プランの成果を明らかにされたい。</p> <p>・経営状況の改善に向けた取組み(収益の増加と費用の削減)を更に推進されたい。</p>

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

中期目標		府中総合病院については、建て替えの計画が存在している。この病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約に協力すること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>・昨年度、新病院の設計業務は完了し、一部施設の解体業務も完了しました。今年度は、新病院の建築工事に着手します。建築工事に並行して、新病院の運営が新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、引き続き関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>・病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>【府中】新病棟の建築が開始され、H27年末の完成に向けて着々と工事が進んでいます。電子カルテ導入のための業者決定も行き、ICT 地域連携機能を備えた病院になります。</p> <p>【府中】新病院の機能として、地域包括ケア体制に向けて医療と介護の総合窓口と、食の情報発信のためのレストランを1階に設けます。</p> <p>【法人】新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意しました。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めています。</p>	3	3	<p>・府中市民病棟改築に伴う新病棟への移行が円滑に行われるよう、しっかりとした移行スケジュールを策定し、実行されたい。</p>

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

2 医療機器などの更新

中期目標	医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施すること。										
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価							
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント						
<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>・医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p> <p>・本年度の投資的経費は、76,000千円を上限目標額とします。</p>	<p>【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しています。</p> <p>決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。</p> <p>本年度の投資的経費は、63,559千円で、目標限度額の範囲内としました。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1010 1489 1158"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>投資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>45,348千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>18,211千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	投資額	府中市民病院	45,348千円	府中北市民病院	18,211千円	3	3	<p>・医療機器の更新については、従事者の意見を尊重しつつも総合的に判断する必要がある。</p>
内訳	投資額										
府中市民病院	45,348千円										
府中北市民病院	18,211千円										

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成26年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	該当なし	3	—	

第7 剰余金の使途					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。	・決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。	平成 26 年度決算では、剰余金は発生しませんでした。	3	—	